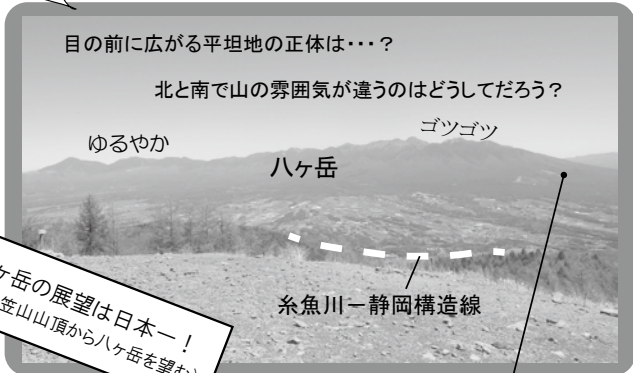


信州自然ガイド No.1 ~富士見町入笠山~

コースタイム (約3時間)
 標高差:約230m 往復約4.8km
 ① Gondola 駅舎 → ② 入笠湿原 → ③ 入笠山
 → ④ 林道合流点 → ⑤ サルオガセ観察ポイント
 → ① Gondola 駅舎
 舗装道路 — 登山道 — 木道

西南日本の端に立つ!!
 数億年前に思いを馳せながら今の地形をみてみよう!



目の前に広がる平坦地の正体は...?
 北と南で山の雰囲気が違うのはどうしてだろう?

ハケ岳の展望は日本一!
 (入笠山山頂からハケ岳を望む)

裾野の広がりには火山特有の美しさ
 隆起してできた
 日本アルプスと見比べてみよう

長野県
 自然環境保全地域
 指定の入笠湿原

② 観察ポイント
 入笠湿原とススキ草原
 緑を楽しむもよし
 花を楽しむもよし
 湿原について考えるもよし

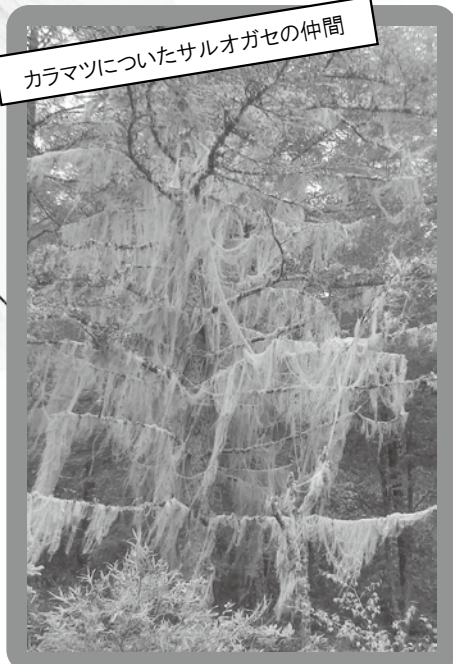
③ 観察ポイント
 入笠山山頂 (1,995m)
 周りの地形や正面にそびえる
 ハケ岳を見てみよう

山頂付近に岩がポコポコ...
 緑色岩
 はるか南の海洋底で
 2億年以上前に形成された火山岩

ブナの大木
 どうやってここまで
 やって来たのだろうか

⑤ 観察ポイント
 カラマツの枝から垂れる
 不思議な生きものサルオガセの仲間
 サルオガセは菌類と藻類の共生体である地衣類の一種

カラマツについたサルオガセの仲間



大きな物から小さな物まで
 魅力いっぱいなのだ

オリジナル

入笠山自然史観察マップ

このマップは第1回自然ふれあい講座 自然史王国信州を歩く
 ~日本列島の東西境界~ (2016年度6月25日実施)の内容をもとに作成しています。 (富樫 均・石田祐子)